

F-3 プログラム管理者の定めるウェブサイトにおける公開情報 <sup>18</sup>									
情報提供項目		記述欄	該当箇所						
(1) 全般	取組名称	プラコンフロアのカーボン・オフセット	表紙						
	認証取得者名	第一カッター興業株式会社	A-1						
	取組の概要 A-6項目にある一覧表も添付すること。	<p>第一カッター興業が手掛ける、「プラコンフロア」に使用する建設機械から排出されるCO<sub>2</sub>をJ-クレジットなどを活用して1年分オフセットする取組み。この工事で採用しているコンクリート鏡面仕上げ工法は床を直接磨くのでメンテナンスフリーとなっており、床材メンテナンスによる廃材などを出すことがないため環境配慮型工事を実現できる。それでもなお、建設機械から排出されるGHGを対象にカーボン・オフセットを実施することでより一層環境貢献をはかっている研磨施工業界初の試みである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>製品・サービス名</th> <th>グリーン購入法の特定調達物品等への適合<sup>19</sup></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プラコンフロア</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>	No.	製品・サービス名	グリーン購入法の特定調達物品等への適合 <sup>19</sup>	1	プラコンフロア	<input type="checkbox"/>	A-6
	No.	製品・サービス名	グリーン購入法の特定調達物品等への適合 <sup>19</sup>						
	1	プラコンフロア	<input type="checkbox"/>						
	適用したカーボン・オフセット第三者認証基準のバージョン	Ver.1.1		A-6					
	認証有効期間	2022年4月1日-2023年3月31日		A-7					
	オフセット主体 <sup>*1</sup>	申請者のみ		A-8					
オフセットラベルの用途	申請者印刷物（工法カタログ）、申請者提供の工事サービス用機械貼付用のマグネットシート、カーボン・オフセット証書		F-2						
(2) 排出量の認識	認証対象活動	プラコンフロアに使用する建設機械（発動発電機）の使用	B-1						
	認証対象取組内の温室効果ガス排出活動	<p>【企画・調達】 営業段階における電力の使用、機器運搬や人員の輸送に伴う燃料の使用など</p> <p>【提供・利用】 プラコンフロアに使用する建設機械（発動発電機）の使用</p> <p>【後処理】 機器運搬や人員の輸送に伴う燃料の使用など</p>	B-1						
	算定対象範囲	プラコンフロアに使用する建設機械（発動発電機）の使用	B-2						
	算定方法（算定式及び算定方法の根拠とした文書名等）	<p>排出量計=燃料使用量(l)×排出係数(kgCO<sub>2</sub>/l)</p> <p>燃料使用量(l)=稼働時間×時間あたりの燃料消費量(l/h)</p> <p>稼働時間は7時間を想定し、上記の算定式に年間想定される稼働日数50日乗じたものを総排出量とする。</p>	B-3 B-4						

<sup>18</sup> F-3の全ての情報は、プログラム管理者の定めるウェブサイト(URL: <https://www.jcos.co/>)にて公開されますので、公開可能な情報のみを記入してください。

<sup>19</sup> 特定調達物品等への適合の有無は、カーボン・オフセット第三者認証基準の定める要求事項ではありませんが、国等の公的機関におけるグリーン調達の推進のための参考として情報提供のご協力をお願いします。

		<p>尚、実際の稼働時間及び年間稼働日数は管理台帳で把握し、実績値に基づきオフセットを行う。</p> <p>【標準値を使用している活動量の種類等】</p> <table border="1" data-bbox="544 360 1177 656"> <thead> <tr> <th>活動量の種類</th> <th>年度・期間</th> <th>根拠(データ元・文書名等)</th> <th>参照 URL※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間あたり燃料消費量</td> <td>令和3年度</td> <td>建設機械等損料表 (出典元:建設機械化協会)</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他の値を使用している活動量の種類等】</p> <table border="1" data-bbox="544 723 1177 1310"> <thead> <tr> <th>活動量の種類</th> <th>活動量の値の区分</th> <th>活動量の値の根拠</th> <th>年度・期間</th> <th>根拠(データ元・文書名、測定方法等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働時間</td> <td><input type="checkbox"/>標準値等の按分値 <input type="checkbox"/>合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/>その他</td> <td>日報、及び管理台帳</td> <td>2021年度</td> <td>日報、及び管理台帳</td> </tr> <tr> <td>稼働日数</td> <td><input type="checkbox"/>標準値等の按分値 <input type="checkbox"/>合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/>その他</td> <td>管理台帳</td> <td>2021年度</td> <td>管理台帳</td> </tr> </tbody> </table> <p>【排出係数とその根拠】</p> <table border="1" data-bbox="544 1377 1209 1794"> <thead> <tr> <th>排出係数の種類</th> <th>排出係数の値の区分</th> <th>年度・期間</th> <th>根拠(データ元・文書名等)</th> <th>参照 URL</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建設機械稼働に使用する軽油</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>標準値 <input checked="" type="checkbox"/>入手可能な最新の値 <input type="checkbox"/>過去の値 <input type="checkbox"/>固有値</td> <td>2021年度</td> <td>温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度</td> <td><a href="https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf">https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf</a></td> </tr> </tbody> </table>	活動量の種類	年度・期間	根拠(データ元・文書名等)	参照 URL※	時間あたり燃料消費量	令和3年度	建設機械等損料表 (出典元:建設機械化協会)	なし	活動量の種類	活動量の値の区分	活動量の値の根拠	年度・期間	根拠(データ元・文書名、測定方法等)	稼働時間	<input type="checkbox"/> 標準値等の按分値 <input type="checkbox"/> 合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/> その他	日報、及び管理台帳	2021年度	日報、及び管理台帳	稼働日数	<input type="checkbox"/> 標準値等の按分値 <input type="checkbox"/> 合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/> その他	管理台帳	2021年度	管理台帳	排出係数の種類	排出係数の値の区分	年度・期間	根拠(データ元・文書名等)	参照 URL	建設機械稼働に使用する軽油	<input checked="" type="checkbox"/> 標準値 <input checked="" type="checkbox"/> 入手可能な最新の値 <input type="checkbox"/> 過去の値 <input type="checkbox"/> 固有値	2021年度	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度	<a href="https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf">https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf</a>	
活動量の種類	年度・期間	根拠(データ元・文書名等)	参照 URL※																																	
時間あたり燃料消費量	令和3年度	建設機械等損料表 (出典元:建設機械化協会)	なし																																	
活動量の種類	活動量の値の区分	活動量の値の根拠	年度・期間	根拠(データ元・文書名、測定方法等)																																
稼働時間	<input type="checkbox"/> 標準値等の按分値 <input type="checkbox"/> 合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/> その他	日報、及び管理台帳	2021年度	日報、及び管理台帳																																
稼働日数	<input type="checkbox"/> 標準値等の按分値 <input type="checkbox"/> 合理的な見積値 <input checked="" type="checkbox"/> その他	管理台帳	2021年度	管理台帳																																
排出係数の種類	排出係数の値の区分	年度・期間	根拠(データ元・文書名等)	参照 URL																																
建設機械稼働に使用する軽油	<input checked="" type="checkbox"/> 標準値 <input checked="" type="checkbox"/> 入手可能な最新の値 <input type="checkbox"/> 過去の値 <input type="checkbox"/> 固有値	2021年度	温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度	<a href="https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf">https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/itiran_2020_rev.pdf</a>																																
	算定排出量	12t-CO2	B-5 D-1																																	
(3) 排出削減	認証対象取組内の温室効果ガス排出削減の取組	プラコンフロア工事は、コンクリートの表面を1mm程度研削した後に、研磨をして仕上げるため、この研削粉が産廃物として発生する。従来工法である塗床や貼床は、改修工事の際に既存の材料を撤去し、それが廃材となる。	C-1																																	

		プラコンフロアについては、供用後、塗替え・張替えの必要がないため、廃棄・リサイクル部分に関するGHGの削減につながっている。		
	消費者等又は寄付参加者への削減を促す取組※2		C-2	
	認証対象取組外の温室効果ガス排出削減の取組		C-3	
(4) 埋め合わせ	無効化量、又は算定排出量に対するオフセット比率	12t / 100%	D-2 D-3	
	クレジットを認証した認証制度名とクレジットの種類	J-クレジット制度の下、旧制度からのプロジェクトの継続を行ったプロジェクトにおいて、プロジェクトの継続前に創出されたクレジット	D-4	
	クレジットのプロジェクト名（プロジェクト実施国・実施地域等の属地的情報を含む）	A重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト	D-4	
	クレジットのプロジェクトタイプ（風力発電、木質バイオマス燃料転換、森林管理等）	ボイラー更新	D-4	
	クレジットの無効化（予定）日・無効化方法	2019年4月22日	D-5	
(5) その他必要事項 ※3	製品・サービス、又は会議・イベントのチケット等の販売価格	工事規模により異なる。	—	
	消費者の価格負担（料金への上乗せ）の有無	なし	—	
	その他支払いに関する事項（申込みの有効期限、不良品のキャンセル対応、販売数量、引渡し時期、送料、支払い方法、返品期限、返品送料等）	工事完了後手形支払い。 (工事規模によるが支払い期限日は1~3ヶ月)  クレームに対しては、お客様指定の保守に基づいて対応する。	—	
	販売事業者情報	販売事業者名	第一カッター興業株式会社	—
		運営統括責任者名	高橋 正光	—
連絡先（所在）		神奈川県茅ヶ崎市菟園833番地 0467-85-3939	—	

	地、電話番号、e-mail)		
	ウェブサイトリンク先	<a href="http://www.daiichi-cutter.co.jp/">http://www.daiichi-cutter.co.jp/</a>	—

※1 複数の者がオフセット主体であると主張する場合には、別々の主体が同じカーボン・オフセットの取組に関するオフセットを同じクレジットを用いて主張すること（ダブルカウント）を防止するため、オフセット主体ごとに帰属するオフセット量を明確にすること。

※2 クレジット付きオフセット認証における消費者等及び寄付型オフセット認証における参加者等に対して、温室効果ガス排出削減を促す取組を行うこと。

※3 景品表示法、特定商取引法及び消費者契約法の対象となるものについては必須（例えば、インターネット等の通信販売や店頭販売を行う場合）。